

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

電話 048-585-0605

FAX 048-585-0562

Mail [san-ai@isis.ocn.ne.jp](mailto:san-ai@isis.ocn.ne.jp)

URL <http://www.san-ai-jidouyougo.net>

社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい

第 129 号

2020 年 1 月 1 日

三愛学園 広報タスク



## 人の欲求

さんあい 施設長 高瀬 一使徒



新年、あけましておめでとうございます。

年の初めから少し難しいお話になって恐縮ですが、アメリカの心理学者、アブラハム・マズロー（1908年～1970年）の唱えた5段階欲求理論のお話をしたいと思います。この説は、広く日本でも知られています。特に福祉分野では、彼の理論は必須の学びの一つとなっています。

- 彼の説をまとめたものが右の図と解説になります。
- 1・生理的欲求⇒ 食べたい、寝たい、排せつしたい等
  - 2・安全欲求⇒ 安全な暮らしがしたい、もっと収入を得たい等
  - 3・社会的欲求⇒ 集団に属したい、仲間や恋人が欲しい等
  - 4・承認欲求⇒ 褒められたい、認められたい等
  - 5・自己実現欲求⇒ あるべき自分になりたい、他者に貢献したい等

### マズローの欲求5段階説



1～3を外的欲求、4、5を内的欲求と分類したりします。また、必ずしも一つ一つの欲求が段階的に満たされながら1～5へと進むわけではないとも言っています。例えば、生理的欲求が満たされなくとも自己実現欲求を求める人はいます。この5段階欲求理論は、ともすれば人間の本質的な欲求を最も明瞭に表している理論のように紹介されますが、実はそうではありません。マズローは、5番目欲求の上に6番目の欲求を加えています。それは、自己超越欲求と言われています。

自己超越欲求とは、他人からの見返りを求めず、他人の不幸に罪悪感を抱き、創造的であるなど崇高な欲求です。

1～5までは、自己中心的な欲求ですが、6番目の自己超越欲求とは、他己中心的な欲求ということができます。

マズローの唱える第6の欲求は、三愛学園の理念の土台である聖書の教えと一致する部分は大です。聖書は、罪人である人は自身の力では他己中心的（自己超越的）にはなれないと教えます。それをできるのは神様のみです。ですので、自己超越欲求とは、神様（完全な愛）に対する欲求で、人はどこかでこれを求めているというのです。人は偶然の積み重ねでアメーバより進化し今日あるというのが進化論の基本ですが、クリスチヤンは神が人を創造したこと信じています。脳や心も神がつくったのですから、署名な心理学者や脳科学者の説には聖書と共に通する部分が沢山あり、積極的に学ぶべきだと思います。

「愛情があれば、養育は上手くゆく」 そんな児童養護の時代は過ぎました。人の心や精神、そして欲求等しっかりと認識して、自分を知り相手を知ることが増々必要とされています。本年もご指導・ご協力をよろしくお願ひいたします。

今年は、更に多くの社会的養護を必要とする子どもたちのニーズに答えてゆくために、法人として深谷市内に自立援助ホームを開設する予定です。小さな法人ですので、財政的に維持継続してゆくためには、今後一層の努力が必要になってきます。皆様からのご支援をよろしくお願ひいたします。

# クリスマス会

2019.12.25

★ 今年も普段よりお世話になっているボランティアさんや理事・評議員の方々をお招きし、クリスマスのお祝いが出来た事に感謝いたします。

第一部の礼拝の中で「受けるより与える方が幸いである」との聖書の言葉通り、参加者みんなでクリスマス献金を行いました。みんなから捧げられた献金は 43,519 円になりました。シリア難民の支援のために寄附させて頂きます。

第二部はサンタとトナカイが登場し子ども達にプレゼントを配ってくれました。みんなで会食をし、幼児さんや新任職員の出し物、クイズ大会などで楽しいひと時を過ごしました。

## 第一部



## クリスマス献金



## 第二部



# あいうえお 作えて 令和2年 新年の抱負

## ひのき

たのしい時は  
ちからの限り  
つらい時は  
てを取り合って  
とにかく健康第一！

## ねむのき

あかるく元気に  
いっしょにけんめい  
うんどうべんきょうがんばります  
えがおがたくさんあるねむのきで  
おてつだいもバッチャリします♪



## もみのき

まつたりと時々がんばる！  
みんなでちからを合わせて  
むりはせず  
めぐるましい日々も  
もりもりもぐもぐ

まつたりがんばる

## いちょう

なかよく元気で  
にこにこ笑顔のいちょうのみんな  
ぬくぬくの暖かい心を持って  
ねばり強く  
のんびり行きましょう

## かしのき

かんしゃの心を忘れません  
きラキラな笑顔の僕たちは  
くるしい時は助け合います  
けんかをする時もあるけれど  
これからも仲良く過ごしましょう

## ぽぶら

はっぴーな毎日をすごし  
ひとりひとりの個性を大切にし  
ふしきな魅力を十分にいかして  
へこまない力強さをもって  
ほんわかぽぶらで過ごしましょう

## オリーブ

さあいこう！  
しあわせ運ぶ  
すてきな笑顔で  
せっせとまの精神と  
そらのような広い心で

新たな出会いを大切に

# さんあいインタビュー

今回は、今年度入職したのケアワーカーの佐藤真未さんにインタビューしました。



① どんなことがきっかけでさんあい（児童養護の世界）で働きたいと思うようになったのでしょうか？

元々子どもが好きで、人のお世話をすることが好きだった事もあり、高校生くらいの頃から児童関係の仕事がしたいと思っていました。それが明確になったのは大学生になってからです。様々な分野の勉強をしていく中で、子どもを近くで見守り、支援が出来る仕事は何かと考えた時に児童養護施設に辿り着きました。

② まだ入職して、1年も経っていませんが、入職前に想像していたことと、実際に働いてみて一番の違いはなんでしょうか？

入職前は、正直もっとシビアな世界だと思っていた。ですが、実際働いていると想像していたよりもパワフルで楽しく毎日が過ぎています。もちろん楽しい事ばかりではないですが、日々悩んで考えて、それが子どもの成長へと繋がるのだと思うと、よし頑張ろう！という気持ちになります。

③ 入職して、一番辛かったことと一番うれしかったことはなんでしょうか？

子どもから相談を受けた時に、上手く答えてあげられなかったりと新任ゆえの葛藤みたいなものを感じ、その子の気持ちを無駄にしてしまったのではないかと自分の力不足を感じて辛くなります。それでも、子どもから「ありがとう」や「大好き」といった手紙を貰うと本当に嬉しいです。



① 仕事の支えになっていることはなんでしょうか？

何気ない事でも「ありがとう」と言ってくれた時や、私の姿を見て駆け寄って来てくれる時など、本当に嬉しくて温かい気持ちになります。あとは、どんなに疲れていても宿直の時などに子どもの寝顔を見ていると癒されて、明日も頑張ろうと思えます。

⑤ 今後の希望や抱負はありますか？

まだまだ入職して間もないで慣れていないことばかりですが、子ども達の為に自分が出来ることは最大限頑張っていきたいと思っています。また、子ども達にはたくさんの素晴らしい経験をさせてあげられればと思います。その為に、私自身ももっと様々な事を学んで活かしていきたいです。

⑥ これから児童養護施設で働くことを希望している方々へメッセージをお願いします。

子どもと接している中で、辛いことや大変な事も少なくはないですが、日々違った表情を見てくれる子ども達との生活にやりがいを感じています。また、子どもの成長と一緒に喜ぶ事が出来る素敵な仕事だと思います。



## 第45回丸紅基金社会福祉助成金

45年間にわたり、社会福祉増進のために様々な団体に助成して下さっているのが丸紅基金社会福祉助成金事業です。この事業には丸紅社員の方々の寄付金も含まれています。今年度は全国からの487案件が申請され、その中から当法人の申請した案件を含め63案件が選考されました。三愛学園の申請案件名は、「発達障害児童や低発達児童の機能強化のための環境整備」で、助成額は150万円です。内容は、視聴覚・言語機能の訓練用に、各居室で使えるタブレット8台と専用アプリ購入費用、運動機能強化のためのグランド舗装整備費用です。沢山の案件の中から、当法人の案件を選んでいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちのニーズに答えるために大切に用いさせていただきます。



### えいごであそぼ



久しぶりの「英語であそぼ」を開催しました。今回は高崎市在住の宣教師ジョーンズ先生がお友達とノースキャロナイン州の教会の方々を連れてきて下さいました。フェスティバルでは、英語の挨拶から始まり、秋にちなんだ英語の歌を振付入りで歌い、5種類の景品付きゲームの時間、神様がそのままの一人ひとりを愛してくれているという聖書のメッセージ、そして感謝の気持ちを短冊に書く時等、楽しさ満載のあつという間の2時間でした。子どもたちは飽きることなく、ある時は笑顔で、ある時は真剣な表情で参加していました。毎年この時期にアメリカのクリスチャンの方々がジョーンズ先生と来て下さいますが、今回の方々は、さんあいの後は台風で被害があった栃木県に行き、片付けのボランティアをしたそうです。海外も視野に入れているアメリカの方々のボランティアスピリットには脱帽するばかり。本当にありがとうございました。  
God Bless you!

### 行ってきました！ 醤遊王国

小学生の工場見学で、日高市の醤遊王国に行きました。工場内には大豆を蒸す大釜があり、職人さんが製造工程の説明をしてくれました。休日で工場が稼働していなかったのが残念でしたが、見たことのない道具ばかりで子ども達は興味津々で見学していました。生しぼり醤油をかけて食べた、生卵かけご飯はおいしい！と大好評でした。良い経験になりました。

### 頑張ってます！ 言葉トレーニング

昨年度から始動した療育タスクでは、年3回“から(体)トレ”と“こと(言葉)トレ”を行っていますが、今回はことトレの2回目を実施しました。ことトレとは言葉が不明瞭だったり、口の筋力が弱い児童を対象に行っているプログラムです。今回はストローを使い、吸い込みと、吐き出しの練習をしました。上手に出来なくても楽しみながら鍛えることで言葉の発達を促していくたいと思います。

## 台風19号による被害

昨年10月の台風19号による被害で、多くの方々が未だに苦しい生活や将来に不安を抱えていると思います。実はさんあいでも、中庭の排水が降雨量に追いつかず、見る見るうちに中庭全体が湖のような状態になってしまい、事務所棟への浸水を覚悟いたしました。しかし、夕方から夜10時までに及ぶ職員と子どもたちのバケツを使った必死の排水作業で、かろうじて難を逃れることができました。今後は、中庭の排水能力を高めるための整備を今年の台風シーズンの前に行う予定です。同時に今回のような中高生たちと職員の団結力と機動力を、今後の防災対策に生かして行きたいと思います。また、被災されたの方々の支援として職員と子どもたちで義援金を集めて日本赤十字を通して被災地へ送らさせて頂きました。



湖のようになった中庭



中高生男子は大活躍でした

## 子育てサロン 夏みかん

今回は手作りバターに挑戦しました。ペットボトルに42%の生クリームを入れて1人ずつ交代で何回も縦に横に激しく振りました。突然ボコ！と音がして重くなり出来上がり。バターは少々の塩で味付しホットケーキに塗って食べました。手作りのバターは口当たりがなめらかでバニラアイスの様にほんのり甘かったので口にすると誰もが「これ良いね」「違うね」と目が大きくなっていました。食後は自由工作をしました。線路や椅子、カメラを作る子や木を重ねて「サンドイッチ！」と嬉しそうに見せてくれた子もいました。

## ファミリーホーム 齧の里

平成27年10月の開設から、あっという間に4年が過ぎました。

この間、多くの事故報告書を関係機関に提出しました。子ども達は、言い訳や屁理屈で自己を正当化したり、責任転嫁をして自身の傷つきを防御することもあります。しかし安定した環境の中で、大人と関わることで主体的に、ことの善し悪しを学び、養育者との信頼関係を軸に心身共に成長しています。先日、交換研修の為来訪した職員から、子ども達が「初め、ここは嫌いだったが、今は楽しい、ここが好きだ。」と、言っていた事を聞き、改めて子ども達との日々の関りの大切さを実感しました。

最後になりましたが、今年度事業の給湯器改修工事では、赤い羽根共同募金により工事が終了しました。又、寄居町社協歳末助け合いによる善意の助成金等々、地域の方々の日頃からのご厚意に対し、心から感謝いたします。



## 緊急一時保護ユニット オリーブ

段々と本格的な冬の寒さになってきましたが、オリーブの子どもたちは寒さに負けず元気いっぱい！本園の子と一緒に鬼ごっこをしたり体を動かして遊んでいます。三輪車や一輪車に乗れなかった子も練習の成果から今ではスイスイと熟しています。通学している小6女児も送迎担当職員と会話を楽しみながら元気に登校しています。お喋りが大好きな子が揃い、賑やかなオリーブです。

## 非常食体験

10/20(日)に防災訓練の一環で非常食体験を実施しました。さんあいで備蓄しているアルファー米 50 食セットは、アルファー米と、しゃもじ、手袋、パック、輪ゴムがセットされており使い勝手のよいもを用意しています。実際にアルファー米を使い、おにぎりにしてパックに詰め準備し青空の下みんなで美味しく頂きました。災害がないのが一番ですが、さんあいの非常食は、いつでも準備万端です。(坂田)



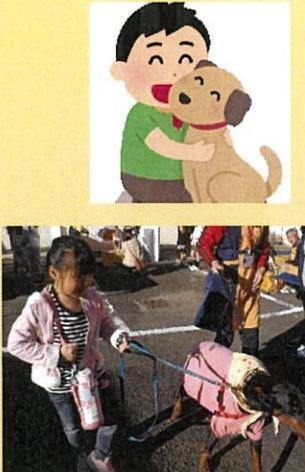
## ヒップホップダンス

月に 1 回程度、ボランティアでブロヒップホップダンサーのインカ先生に来て頂き、子ども達に 1 時間のレッスンをしていただいている。先生は、子ども達に対して決して否定的な言葉は使わず、上手く踊れない子にも英語と日本語を組み合わせて励ましリズムに乗せます。会話はできなくともそんな先生が子ども達は大好きです。(ブログより)



## 動物愛護フェスティバル

11 月 14 日に熊谷市にある埼玉県動物指導センターで行われたふれあいイベント『動物愛護フェスティバル』に参加してきました。対象の児童は、動物が好きな児童が集まる「アニマルクラブ」の子ども達です。フェスティバルでは、犬の散歩を楽しんだり、モルモットやウサギと触れ合ったりし、動物好きの子どもたちにはたまらないイベントでした。(加藤美)



## 子ども祝福式

11 月 17 日に教会で行われた子ども祝福式に参加しました。祝福式では、子ども達 1 人 1 人に健やかな成長と幸せをお祈りしていただきました。お祈りをしていただいている最中はしっかりと受けすることが出来ており立派でした。昼食では、手作りサンドウィッチを作りました。お肉を沢山入れる子、卵多めの子、あんこ多めの子などそれぞれの個性が見られました。最後はみんな満腹になり喜んでいました。(加藤碧)

## 芋ほり

今年の芋ツルは夏の長雨と日照不足でなかなか大きくならず、10 月の芋ほりはできるのか?と不安でした。夏の後半、やっと暑くなり芋ツルがどんどん太くなっていましたので一安心しましたが掘ってみると「あれ?」芋がありません。ところどころに立派な芋がありましたがほとんどがほっそりとしていておいしそうとは言えないくらいでした。(野田)

## 吉本お笑いコミュニケーション講座

コンパスナビ様のご協力のもと、10 月 27 日に吉本興業所属の「オオカミ少年」「かがくと森田くん」「清水バージョン」の 4 名の方を招いてオオカミ少年の世渡り塾を開催しました。芸人の皆さん登場すると、子ども達も興味津々。実験等の参加で拳手を促されると子ども達は大声で「はーい!!」と叫んでおり、その決死の表情は芸人さんのネタになるほどでした。コンパスナビ様、吉本芸人様ありがとうございました。(高柳)

いつも暖かいご支援ありがとうございます。

\*ご寄付は右記の口座にお願い致します。連絡先を入れて下さい。 埼玉りそな 岡部支店 普 0058888

## 編集後記

昨年は、ラグビーワールドカップが日本で行われました。史上初となるベスト 8 という快挙を成し遂げた熱い戦いは、まだ記憶に新しいと思います。6 力国の海外出身者が入り交じる日本代表は「ワンチーム」を合言葉に結束力を高めたそうです。さんあいでも理念を念頭に、職員同士が一つのチームになって子ども達の養育に努めたいと思います。  
(広報タスク一同)